

かつの微生物農法研究会便り

H24.4.1 No.113 (通算)



稲の苗作りスタート。

雪解けとともに農作業が始まります。

とても雪の多かったこの冬ですが、終わらぬ冬はきっとなく、厚い雪が消えるのとともにいよいよ今年も稲の種まき、苗作りが始まります。かつては「苗半作」と言われ、健康で丈夫な苗を作ることが出来れば、稲作は半分成功したようなものだと言われていました。最近は省力化の技術として、苗作りを行わず種を直接田んぼに播く「直播(じかまき/ちよくは)栽培」も奨励され増えてきていますが、稲の初期生育の重要さは変わりません。例えば、稲の苗は人の赤ちゃんにあたります。冬から春への季節の変わり目のこの時期、不安定な気候のときでもあり、時には日照不足や長雨、高温、遅霜など様々な障害要素があります。稲の赤ちゃんである苗をしっかりと育てるには、外気の変化に負けてしまわないように目をかけて守ってやらなければなりません。しかしあまり甘やかして育ててしまうと、田んぼに植えた後、逆に外気の変化についていけず病気に弱い稲になってしまいます。適度に管理し、徐々に外の世界に慣れさせていく必要があるのです。本当に、人の赤ちゃんと同じように思えませんか・・・？



「微生物農法」って何のこと？

地球上の生き物の世界は微生物が主役
水田の土の中には沢山の種類、膨大な数の微生物が活動しています。私たち人間のお腹では善玉菌と悪玉菌のバランスが崩れると体調が悪くなりますが、イネにとってのお腹を水田土壌、とらえたのが微生物農法です。水田の土も微生物のバランスを整えてやるのがとても重要で、そのバランスが崩れるとイネが病気にかかりやすくなったり、生長が上手いかなかつたりします。有機肥料や堆肥で微生物バランスを良好に保つことで、健康で自ら美味しくなる作物作りをするというのが微生物農法です。

食べてお得なサービス実施中。

ポイントシールをためて送ると必ずもらえるプレゼント!



お買い上げいただいたお米、2800円毎に一枚ついてくるシールを集めて専用台紙に貼って送ると、お米などをもらえなくプレゼント!

生産地から

当地鹿角に降り積もる雪は、新潟や横手などの豪雪地帯ほど量はないものの、本州で最も冷え込む地域のひとつならではのきめ細かい繊細な雪質です。この雪が、実はたんぼや畑にミネラルを補給してくれたりもしていて、雪かきは大変ですが美味しい作物生産のためには良い条件でもあります。ただ近頃は、年々「黄砂」の飛来量が多くなっており、その影響が怖いところですが…。



←4月下旬に除雪が完了して開通する、八幡平のアスピーテライン。うす高く積もった良質の雪と、頂上付近から半径150kmほども見渡せる絶景が人気。雪は7月上旬まで完全に消えることはない。

↓鹿角市内から車で30分以内のところにある、安比高原スキー場からの眺め。安比は春スキーでも雪質は抜群で、5月まで営業している。鹿角市内にある秋田八幡平スキー場も、雪質さらによく5月まで営業。



こちらのホームページで鹿角地域の様々な観光案内がご覧いただけます。

(社)十和田八幡平観光物産協会

<http://www.ink.or.jp/kankou18/>

かつのファンクラブ

<http://www2.city.kazuno.akita.jp/fanclub/index.html>



『鹿角の萌えみのり』好評発売中です。白飯としての総合的な美味しさは『花輪ばやし』に譲るものの、チャーハンやカレー用のご飯、また寿司のシャリ用としては抜群の相性です。品種は「萌えみのり」ですが、鹿角の萌えみのりは当地ならではの美味しさ。炊き上がりの光沢も素晴らしく、独特の食感で食べ応えのあるお米です。ご自宅用に、またご贈答用に是非一度お試しください!!

鹿角の萌えみのり

Twitter やってます。
@ambotencho

<http://umaikome.jp>

ホームページも是非ご覧下さい。

携帯からも
ご利用できます



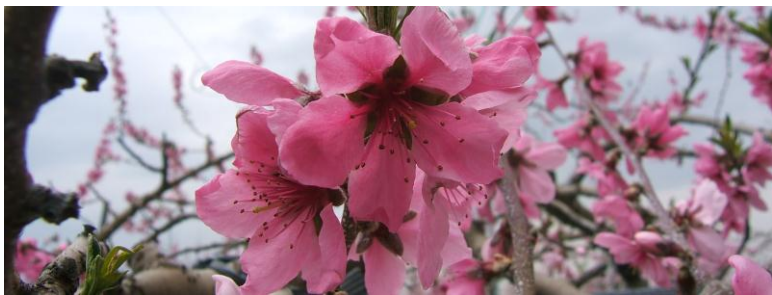
美味しいお米と特産品のご注文／お問合せ先は…

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字赤川端7-3

有限会社 安保金太郎商店

フリーダイヤル：0120-08-2028

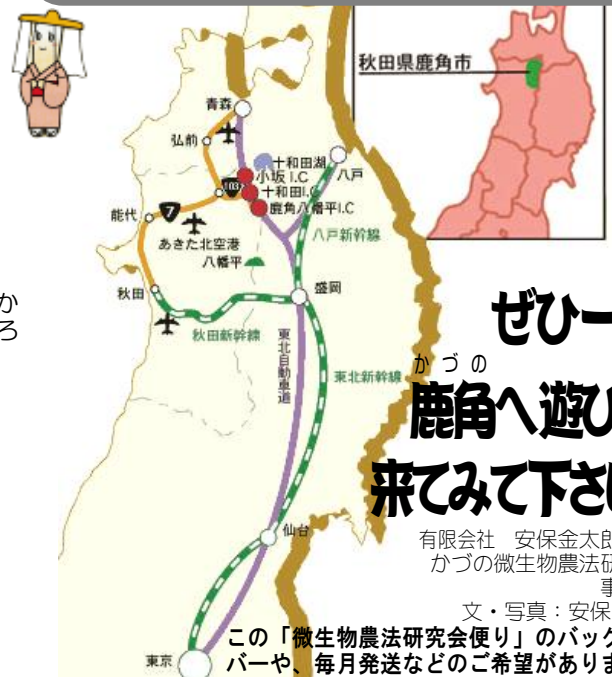
e-mail kintaro@umaikome.jp



当地の名産品、「北限の桃」の園地は、桜の花盛りが終わった頃、一面鮮やかなピンク色に染まる。例年通りならばゴールデンウィークに当地の桜は見ごろとなり、桜が散り始めると次は桃の濃いピンク色が鮮やかに咲き出す。



鮮やかな「北限の桃」の花が散る頃になると、今度は鹿角りんごの花が咲き誇る。この純白の花は「いじ」。りんごは小さな葉が先に出てから白い花が開く。



ぜひ一度
鹿角へ遊びに
来てみて下さい!

有限会社 安保金太郎商店
かつの微生物農法研究会
事務局

文・写真：安保 大輔

この「微生物農法研究会便り」のバックナンバーや、毎月発送などのご希望がありましたらご一報下さい。感想もお待ちしています。